

校長式辞

本日ここに、保護者の皆様のご出席のもと、令和6年度、国立高等専門学校機構鳥羽商船高等専門学校 第53回「商船学科卒業証書授与式」ならびに第17回専攻科「海事システム学専攻 修了証書授与式」を迎え、長い歴史を持つ本校において皆さんを送り出すことは、教職員、在校生、同窓一同にとって、この上ない喜びです。新しい歴史を重ねることになります。

商船学科を卒業された航海コース18名、機関コース13名の皆さんは、5年6月の高等教育の課程を修了し、準学士の称号を授与されました。本科では、基礎学問と教養に加えて専門領域である海事と船舶運航の技術を修得されたことと思います。また、専攻科海事システム学専攻を修了された3名におかれては、大学改革支援・学位授与機構の定めた条件を満たし学士（商船学）の学位を授与されました。

本科教育の基礎学問に加えて高度で、幅広い領域の専門的学術を修められ、また国際的視野を持ち、創造的研究・技術開発の実力をもつ技術者として成長されたはずです。本科卒業生・専攻科修了生の皆さんの今日に至るまでの不断の研鑽を称えるとともに、保護者の皆様にも、心からお祝いを申し上げます。卒業生、修了生の皆さんは、常日頃、皆さんを物心両面から支えてきて下さった保護者への感謝の気持ちをどうか忘れないでください。

船舶職員、海事技術者、エンジニアとして、進路の行先は、海運・海事さらには海洋資源の調査、探査まで広がりを持つものであります。我が国日本は排他的経済水域の面積は世界6位ですが、体積に換算すると世界4位です。このことは日本が大深度水域を広く保有していることを示します。皆さんの今後のご活躍を心より祈念申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、皆さんは本校での日々の勉学と三代目鳥羽丸での乗船実習、加えて合計12ヶ月の乗船実習を立派に成し遂げられました。この間、世界は新型コロナウイルス感染症のために、今までの先輩諸氏が体験したことのない経験もされたことと思います。Seamen、マリタイムの技術者、エンジニアとしての強靭さを体得し、実力を発揮してください。そして、「強さ、強靭さ、剛健さ」には、「正しさ」と「優しさ」が包含されるべきであり、自分を守り、同僚を守り、家族を守り、そして海を守ることを忘れないでください。

社会や国家が文明社会をなしているかどうかの基準は、単に高層ビルが多いとか、科学技術が発達しているとか、ましてや軍隊が強いとかではありません。その基準はただひとつ、「弱者に対する態度、やさしさである」と言われていることを心に留めておいてください。

皆さんのこれからの人生、良いこともあれば辛いこともあるはずです。人間万事塞翁が馬、決して一喜一憂せず、どっしりと構える、そして一見よくないようにみえることも、実はチャンス到来時かもしれません。嬉しいとき、悩んだとき、皆さんは決してひとりではありません。今日ここに集まっている卒業生、友人、保護者、教職員の方々、ここまで皆さんを引っ張ってくれた先輩、あとに続く後輩たちとともに約八千名の同窓生のつながり、絆をしっかり結んでください。

来年度、創基150周年を迎える本校が掲げた教育理念は「進取、礼讓、質実剛健」であります。人生100年ともいわれる時代、誕生から最初の15年間というのは短いですが、その中学3年生で下した決断と今日までの不断の努力にあらためて心より敬意を表します。

さあ、自信と信念を持って自らの人生を堂々と歩んでください。
これを 式辞といたします。

令和六年九月二十日 独立行政法人国立高等専門学校機構

鳥羽商船高等専門学校長 古山 雄一